

長浜市森林ディレクション審議会（令和元年度第3回）議事録

●日 時：令和元年8月30日（金）14：00～15：55

●場 所：長浜市役所1階 多目的ルーム1

●出席者：委員：7名（敬称略）

会長：滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授：高田 豊文

委員：鳥居木材株式会社：鳥居 憲治

委員：滋賀北部森林組合：膽吹 憲男

委員：湖北森林整備事務所：福田 公二

委員：山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会：橋本 勘

委員：林友会、自然再生士：吉井 悟

委員：滋賀県生物環境アドバイザー：村上 宣雄

委員：公募市民：東 逸平

欠席：滋賀県猟友会長浜支部支部長：内海 來

欠席：公募市民：吉川 誠

市（事務局）：6名

産業観光部：大澤誠農林管理監

農林政策課：伊藤治仁課長、土田孝洋副参事、山田智洋主査

森林田園整備課：今荘和則課長、辻智士副参事

●内 容：

1. 開会：大澤管理監/挨拶

2. 議事：長浜市森づくり計画(アクションプラン含む)の素案について

(事務局)

- ・伊藤課長挨拶。前回に引き続き、森づくり計画の見直しについてご意見を頂きたい。
- ・長浜市森づくり計画とアクションプランについて、市役所内で協議を行った結果、市民目線に立ち、計画とプランを二つにわけず内容を一体的にわかり易く説明できるようにするため、アクションプランを森づくり計画の本体に含めることにした。

(委員)

- ・異議なし。

(事務局)

- ・『第1 長浜市森づくり計画の考え方』について説明。

(委員)

- ・質疑なし。

(事務局)

- ・『第2 長浜市の森林・林業の現状』について説明。

(委員)

- ・人工林の林齢別面積について、数字に一部誤りがある。
⇒修正する。
- ・市民意識について、データが古いので更新すべき。今後も継続的に調査を入れて更新した方が良い。

新しい方向を示せないか。時代の流れにより市民の意識が変わっている。

⇒今回は見直しスケジュールの都合上、新たなアンケート調査が実施できなかった。過去に開催したフォーラムで取ったアンケートなどで利用可能なものがあれば修正し、なければ今回は市民意識調査の項目を削除する。次期計画に向けては調査を行うようにする。

(事務局)

・『第3 森林づくりの方向性と基本施策』について説明。

(委員)

・ジュニア長浜学の開催、木育活動支援事業のみではなく、もっと森林に目を向けてもらえるよう森林公園などシンボリックなものも含めてより裾野を広げる活動が必要ではないか。

(委員)

・みどりの里親制度に関連して、『植える』こと自体は良いのだが、現状は植えた後、自治会等が高齢化等により管理ができなくなっている。

(委員)

・みどりの里親制度の植樹本数は市の事業としては植える本数が少ないのではないか。

(委員)

・住宅の木材需要について、直近は微増傾向に転換している。『減少』の表現を修正すべき。

(委員)

・労働災害発生率が全産業平均よりも高い水準にあると書かれているが、改善されていないのか。

(委員)

・林業は相変わらず高い水準にある。

(委員)

・木質バイオマスのエネルギー利用について、『チップボイラー』も入れてはどうか。

(委員)

・トピックスには、参考や出典の記載を掲載した方が良い。

(委員)

・指標について、『累計』なのか、『単年実績』なのか、表現を明確にした方が良い。

(事務局)

・修正を検討する。

(事務局)

・『第4 森林整備に関する事項』について説明。

(委員)

・『植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針』については他に重複部分があるので修正されたい。

(委員)

・市町村森林整備計画のひな型に合わせて文章を修正・追加した方が良い箇所があるので修正されたい。

(事務局)

・修正する。

(事務局)

- ・『第5 計画の実現に向けて』について説明。

(委員)

- ・計画をつくるのは良い。しかし、『つくる』だけでも大変な計画を、『実行する』ことは更に大変なことである。
- ・具体的に『どうやって、誰がやるのか』を明確にしなければならない。計画するだけでなく、実行することが重要である。時間をかけて検討を重ねた計画を計画のまま終わらせるのではなく、『必ず実行をする』ことを念頭にして、事業を進めていただきたい。

(事務局)

- ・そのとおりであると当方も理解をしている。
- ・当計画内容についてはしっかりと各所管課にフィードバックをし、どのように実行していくのか、協議をする。
- ・その他、参考資料、用語集の説明。用語集についてはブラッシュアップをする。

3. 閉会：伊藤課長挨拶

- ・次回会議開催日の案内
- ・閉会

以上